

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。
 検鏡の結果、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大1細胞/ml、また、二枚貝類を着色させる可能性のあるメソディニウム・ルブラムが最大3細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査はクロロフィル量が多い水深から採水した海水1mlの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	コクロディニウム ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属	メソディニウム ルブラム
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:17 透明度 -	0.0	17.1	34.6	8.7	10	0	0	0
	5.0	17.1	34.6	12.6				
	10.0	17.1	34.6	16.8				
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:30 透明度 -	0.0	17.1	31.2	9.3	10	0	0	0
	5.0	17.2	34.6	9.5				
	10.0	17.2	34.6	9.3				
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:42 透明度 -	0.0	16.9	30.6	8.2	10	0	0	0
	5.0	17.0	34.5	8.0				
	10.0	17.0	34.5	8.2				
栄喜奥(別図②) 採水時間 10:02 透明度 -	0.0	15.4	25.8	9.0	10	0	1	1
	5.0	15.7	34.1	8.4				
	10.0	15.9	34.2	8.5				
青瀬山(別図③) 採水時間 10:12 透明度 -	0.0	16.2	26.4	8.9	10	0	0	3
	5.0	16.4	34.3	8.4				
	10.0	16.4	34.3	8.3				
弘浦②(別図①) 採水時間 10:27 透明度 -	0.0	15.5	32.3	8.5	8	0	0	1
	5.0	17.1	34.5	8.5				
	10.0	17.2	34.5	8.4				